

# 職場での男女の差、 感じていますか？

男女の別なく、それぞれの個性と能力が生かせる男女共同参画社会。女性の就業率が全国1高い本県ですが、職場の男女共同参画は進んでいるのでしょうか？  
県内で働く4人の男女に、日ごろ感じていることを本音で語り合ってもらいました。



※名前はずべて仮名です。

**三好 (32歳)** 会社員。子どもは2歳。夫の母らと同居。  
**鈴木 (33歳)** 公務員。男性。独身。  
**山中 (51歳)** 団体職員。4人家族。2人の子どもの社会人。  
**木村 (46歳)** 事務職。5人家族。子どもは社会人2人と大学生。

「職場で男女差を感じることはありますか？」

山中「以前は、女性が朝のお茶出しをしていましたが、「このご時世におかしいよね」となくなりました。女性管理職はいませんが、2年ほど前からグループのリーダーに女性が就くようになり、上司も女性の考えを受け入れるようになりました。徐々に環境は上向いてきていると感じます。」

三好「うちは男性が圧倒的に多い職場です。賃金体系も違いますが、力仕事もあるので仕事の性格上、納得できる。男性でも体力的に仕事を制限している人は上に上がれないし、女性でも望んでやる人には機会も与えられていて、そういう意味では能力主義ですね。」

木村「私の職場も入った頃とは随分変わりました。昔は男性が優遇される風潮があったけど、最近あまり感じない。女性も思ったことが言えるし、意見も聞き入れてもらえる。賞金も同じだし、昇格もそれなりに認められています。」

鈴木「合併で組織が大きくなりました。もとの職場は積極的に男女共同参画に取り組んでいて、

根付くかどうか、組織の体質や上に立つ人の考えによるところが大きい

まだまだ遅れていると思う。  
鈴木「奥さんが会社を休めないなら、男性がとることも考えられるけど、現実には難しい。同僚の多くが両親に預けたりしているし、ゼロ歳児保育もあるのに、なんでお前休むんや、という目で見られそう。」子どもを見たいから」とはつきり言えるかどうか…。

## 女性だからという甘えは捨てなさい

**同僚の意識、世代間で違いますか？**  
木村「いい流れにはきているけど、まだちらほら、特に上の年代の方で、「男はそんなことせんでいい」「女だから…」みたいな言動があります。私も、相手が上司や先輩だと、自分でコピーとってくだささい、とはなかなか言いがたい。」

鈴木「若い世代は、男性、女性という性別での区別もないかなと思うけど、上の年代の人になるほど、口では言っているけど、男女共同参画意識は薄く、実践しているかというところ、そうではないかもしれません。」



って、あまり意識してないですね。  
「今後、職場での男女共同参画を進めるために必要なことはなんですか？」  
鈴木「例えば、女性だけに雑用がまわされたとき、本人はもちろん周囲も「おかしい」と声を出さないといけない。そこで流されてしまうと何も変わらない。一人ひとりが意識しないと進まないんじゃないかな。上に立つ人はより強く意識してほしい。」

山中「確かにね。若い人は大概平等で、個々にひとりの人間として接してくれるから、対等に話しができて仕事はやりやすい。娘を見ていても、上司にも「おかしいんじゃないですか」とはつきり意見を言うようです。受けてきた教育も違いますから、世代によって意識がかなり違うと思いますね。」

木村「意識してしまうのは、私たちがくらの世代なのかも知れない。娘や息子たちを見ると、いい悪いは別にして、男だからだめ、女だからだめっていうこともないようになっている。話題にすること自体、もうおかしいのかも。だから職場も、新しい人が入ってくるころに変わるのでは？と期待します。」

三好「私も男性だから、女性だから



お茶ももちろんセルフサービスだったし、雑用は当番制だった。新しい職場でも当然と思っていたら、新たな女性上司から「女性がやるから」と言われ戸惑いました。男女共同参画の考えが根付くかどうかは、組織の体質や取り組み方、上に立つ人の考えによるところが大きいと感じています。」

**「制度面などで、まだまだこれから、と感じていることはありますか？」**  
山中「育児休暇ですね。男性も取得できますが、実際には取りにくそう。「男がどうして休むの？」と言う上司はいるし、とりたくても言い出しにくいんじゃないかな。子育ては夫婦で協力してやっていくことだし、とればいいと思うけど…」

木村「職場だけのことじゃなく、近所の目もあるんじゃない？男性が仕事休むのはおかしいっていう考えがあるからね。福井はそういう点でま

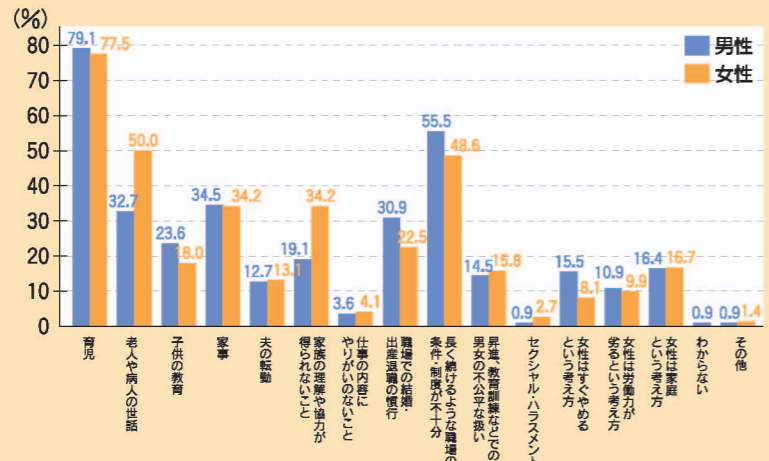
山中「女性の中にも半分のみしか出していないにも関わらず、「会社は私を認めてくれない」と言う人もいます。男女等しく仕事をしていくためには、女性だからという甘えは捨てること。責任と信念を持ってやらないと、自分から変わっていかないと認めてもらえない厳しさがあると思う。」

三好「会社に入った頃は、意見もうまく言えなかったけど、最近慣れて、言いやすい雰囲気です。日ごろから社員同士がコミュニケーションをとって、話しやすい環境にしておくことも大事ですね。」

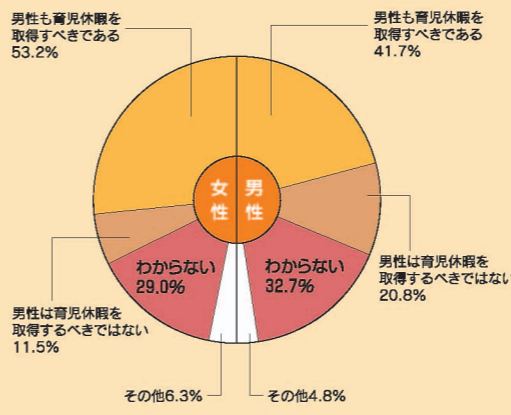
### 女性管理職の比率、日本は後進国

近年日本でも女性管理職の数は増えていますが、欧米諸国に比べるとまだまだ低水準です。例えば、アメリカの管理職に占める女性の割合は45.9%と半数近く、ドイツやスウェーデンも3割を超えています。一方日本は10.1%にとどまっています。

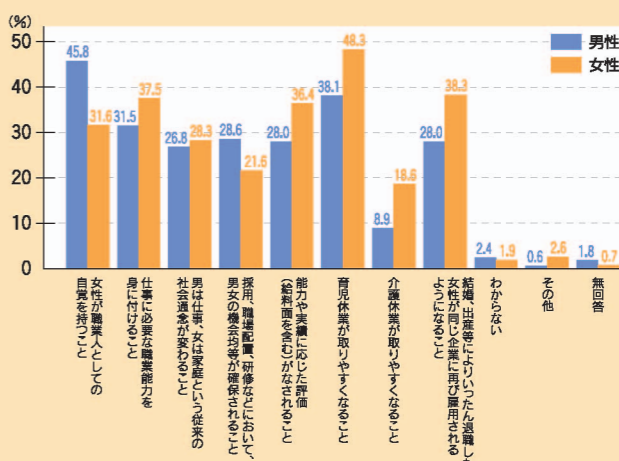
※アメリカ雇用機会均等委員会レポート、総務省労働力調査等より。



③ 女性が働き続けるために「障害」があると思う「または」と回答した女性は82.5%、男性は65.5%。障害となっていないと思われることは何だと思おうか？」



### ② 男性の育児休暇取得「しづらい」と思うか？」



① 女性が職場で能力を発揮し、継続して勤務するためには、どのようなことが重要だと思おうか？」



# Gender Equality



## 自分自分らしくあればいい

—自分で心がけていること、後輩たちに伝えていくことはありますか？

**山中**—仕事は対等にするけれど、女性を捨てる訳ではない。女性らしい発想みたいなもの、優しさは大切にしながらやっていきたい。心配りだったり、女性でしかできない仕事、やり方があるはずだから。

**三好**—がんばりすぎて苦しくなるし、自分は自分らしくあればいいのかなと思います。

**木村**—男性が不得手なことは女性が、女性が出来ないことは男性が、と互いに尊重し協力し合うことが必要だと思っています。一人ひとりのいい面や持っている能力を生かしていきたいですね。

**鈴木**—平等の意味を履き違えてはいけないと思うこともあります。改

めるべきは改めながら、でも、すべてに当てはまるものではない。文化だったり、習慣の中には理由があるし、長年続いてきた流れを急に変えるのは難しいところもある。理解を深めながらやることも多いと思います。

—仕事と家庭を両立させていくためには、家族のバックアップも欠かせませんね。

**山中**—もちろん。夫も私の忙しさをわかっていて、家事も協力してくれます。うちの母を見ると、「男の人にそんなことさせちゃダメ」って怒るんです。母はそういう年代だからね。でも、家族の協力を得ないと、女性が仕事を続けていくことは難しいでしょう？

**三好**—私は今子育て真っ最中。同居

なので、義母が食事の支度してくれたり、バックアップしてもらっています。年代的に「男はそんなことするもんじゃない」という思いもある義母の手前、夫も普段はしませんが、休日はご飯の支度をしてくれたりします。

**木村**—核家族で夫婦協力しながらここまでできました。夫がお茶碗洗っていても洗濯物をたたんでいても違和感はなく、それが普通。子どもも親の姿を見てきましたから、忙しいときは息子も娘も家事を手伝います。男が、女が、というのでなく、生活していく上で必要だと思うんです。お米も炊けないのは困ります。そう考えると、育ってきた環境も社会に出てからの行動や考え方に影響すると思いますね。

**鈴木**—うちは自営業で両親ともに働いていました。父は亭主関白で家事は何もしない。父を反面教師として、自分はもし共働きになったらなおさら、家事に参加しようと思っと思っています。

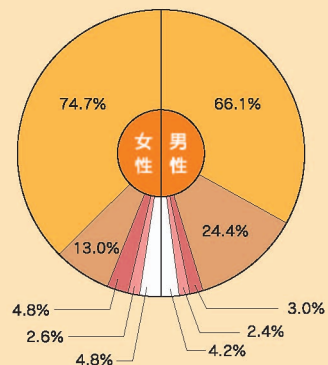
### 「家事・育児への協力」は、結婚相手の重要条件！

女性が結婚相手に望む条件はさまざまですが、「家事・育児に対する能力や姿勢」は、結婚相手の重要条件ランキングでトップの「人柄」に次いで第2位。全体の約6割に達しています。仕事と家庭を両立しながら自分らしく働くためにも、男性の家事・育児への参画が求められています。

※第12回出生動向基本調査より。  
(H14年 国立社会保険・人口問題研究所)

### 4 女性が管理職に「いける」

- 能力のあるものはどんな職場であっても管理職につくほうがよい
- 女性の多い職場や女性の特性がいかせる職場で管理職につくほうがよい
- 男性と同じ仕事をする職場では、女性が管理職につくのはまだ無理がある
- 女性は管理職につかないほうがよい
- その他



お問い合わせ

福井県男女参画・県民活動課

〒910-8580 福井市大手3-17-1

TEL0776-20-0319 FAX0776-20-0632

E-mail danjoken@pref.fukui.lg.jp

※資料データは福井県が平成16年11月に調査した、「男女共同参画に関する意識調査」より

男性も女性も、お互いを思いやり尊重し合える男女共同社会を目指して…

# 6月は「男女共同参画月間」です



福井県男女共同参画シンボルマーク

福井県では、6月を「男女共同参画月間」と定めています。  
 県民の皆さまに男女共同参画への理解と関心を深めていただくため、  
 県や各市町ではこの期間に合わせ様々なイベントを開催します。ぜひご参加ください。

実施主体	イベント	日時	場所	問い合わせ先
福井県	ふくいきらめきフェスティバル2006 ●猪口邦子 少子化・男女共同参画 担当大臣による講演 ●男女共同参画社会づくり功労者 知事表彰 ほか (詳細は次ページをご覧ください)	6月10日(土)～ 11日(日)	敦賀市総合福祉センター 「あいあいプラザ」	(財)ふくい女性財団 TEL.0776-41-4254
	男女共同参画月間キャンペーン ●パネル展示 ●クイズDEポールすくい ●風船・うちわプレゼント など	6月 1日(木)～ 5日(月) 6月14日(木)～ 18日(日)	アピタ福井大和田店(福井市) アルプラザ敦賀(敦賀市)	福井県男女参画・県民活動課 TEL.0776-20-0319
福井市	男女共同参画パネル展 ●男女共同参画の歴史や条例の紹介 ●啓発ビデオ上映 など	6月23日(金)～ 29日(木)	福井市役所 市民ホール	福井市男女共同参画室・ 少子化対策センター TEL.0776-20-5353
大野市	育児相談	6月11日(日) 6月21日(水)	大野市保健センター	大野市保健センター TEL.0779-65-7333
	子育て支援センター育児相談	6月26日(月)	義景保育園	義景保育園 TEL.0779-66-3333
鯖江市	男女共同参画パネル展示	6月20日(火)～ 30日(金)	鯖江市役所 市民ホール	鯖江市男女参画・市民活動課 TEL.0778-53-2214

## 男女共同参画『一行詩』大募集!!

福井県では、男女共同参画についての一行詩を募集しています。  
 県が作成するポスターなどに使用します。たくさんのご応募お待ちしております。

### 一行詩とは…

形式のない川柳のようなもの。  
 一息で読める短い言葉で自由に  
 表現してください。

#### テーマ

- ①男女がお互いを尊重し合い、思いやり合うことの大切さをアピールしたもの
- ②職場での男女共同参画をアピールしたもの(仕事と家庭の両立、女性の能力発揮など)

#### 応募資格

県内在住、または県内に勤務されている方ならどなたでもご応募いただけます。

#### 応募締切

平成18年8月31日(木) ※当日消印有効

#### 応募方法

- 封書、ハガキによる郵送、FAX、電子メールにてご応募ください。
- 作品に、住所、氏名、年齢、電話番号、職業(学校名)を記入してください。
- 2つのテーマのうち両方またはどちらか1つを選択してもかまいませんが、応募は1人につき2作品までとします。
- 作品は自作・未発表のものに限ります。
- 応募にかかる経費は応募者負担とします。

#### 発表

平成18年9月下旬に入賞者に文書で通知します。  
 ※応募作品は返却しません。

#### 表彰

- 優秀賞 5点 賞状と副賞(2万円)
- 入選 15点 賞状と副賞(5千円)
- ※受賞者が高校生以下の児童・生徒の場合は、相当額の図書カードとします。

#### その他

採用作品の使用に関する一切の権利は県に帰属するものとします。  
 なお、応募作品の著作権等にかかわる問題が生じた場合は、すべて  
 応募者の責任とさせていただきます。  
 ※その他詳細につきましては、下記へお問い合わせください。



健康長寿な福井です。



福井県男女参画・県民活動課 〒910-8580 福井市大手3-17-1  
 TEL0776-20-0319 FAX0776-20-0632 E-mail danjoken@pref.fukui.lg.jp